解　説

第 ２ 章　　　　気象

気温の長期変動

100年で約2℃上昇

大阪の年平均気温は長期的に上昇傾向を示しており、大阪管区気象台によると、100年あたり約2.0℃上昇しています。1990年代以降、猛暑日等の日数が特に多くなっています。

 年平均気温の変化(1883～2022年)

[大阪管区気象台「大阪府の気候変動」、気象庁「過去の気象データ検索」より]

※平年値は、1991(平成3)-2020(令和2)年の観測値の各年の平均を基に算出しています。

※大阪管区気象台は、1968(昭和43)年8月に観測場所を移転しました。観測場所により実際より高め又は低めの気温が観測されることがあるため、移転前のデータについては、観測値に補正を行い、グラフの統計値としています。

令和4年の気候

年間平均気温　　17.5℃ (平年値　17.1℃) 　 最高 38.4℃、最低 -0.5℃

年間降水量総量　1,058.0㎜　 (平年値　1,338.3㎜)

年間日照時間　　2,319.6時間 (平年値　2,048.6時間)

 平均気温、降水量(令和4年‐平年)

※平年値は1991(平成3)-2020(令和2)年の観測値の各年の平均を基に算出しています。

[第2章2表より]

(気象概況)

1月

天気は数日の周期で変わりました。平均気温は低く、降水量は少なく、日照時間は多くなりました。

2月

中旬までは天気は数日の周期で変わりました。下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。平均気温は低く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなりました。

3月

天気は数日の周期で変わりました。18日は低気圧や前線の影響で大雨となった所がありました。平均気温はかなり高く、降水量は平年並、日照時間は多くなりました。

4月

はじめは高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。中頃からは天気は数日の周期で変わりました。26日は気圧の谷や湿った空気の影響で大雨となった所がありました。また、29日は低気圧や前線の影響で大雨となりました。平均気温はかなり高く、降水量は平年並、日照時間は多くなりました。

5月

高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、中頃を中心に気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もありました。12日は低気圧や前線の影響で大雨となった所がありました。平均気温は平年並、降水量は少なく、日照時間は平年並となりました。

6月

上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。中旬から下旬のはじめは低気圧や前線と湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、21日は大雨となりました。下旬の中頃からは高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

7月

高気圧に覆われて晴れる日もありましたが、中頃を中心に湿った空気や低気圧等の影響で曇りや雨の日もあ

りました。3日、5日、9日、12日及び19日は湿った空気や低気圧等の影響で大雨となった所がありました。平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並となりました。

8月

上旬は高気圧に覆われて晴れる日もありましたが、中旬からは気圧の谷や湿った空気及び前線や台風第8号などの影響で曇りや雨の日が多くなり、5日、17日、21日及び30日は大雨となった所がありました。平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並となりました。

9月

天気は数日の周期で変わりました。1日は前線や湿った空気の影響で大雨となりました。また2日、4日、8日及び19日は湿った空気と前線や台風第14号の影響で大雨となった所がありました。平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並となりました。

10月

高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、上旬の後半は気圧の谷や前線と湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、7日は大雨となりました。平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間はかなり多くなりました。

11月

はじめは高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。中頃からは天気は数日の周期で変わりました。29日は低気圧や前線の影響で大雨となった所がありました。平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間はかなり多くなりました。

12月

天気は数日の周期で変わりました。平均気温は低く、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

[大阪管区気象台「大阪府の気象2022年(令和４年)年報」より]